

## 2019年度 海外インターンシップ報告書

清泉女学院大学 人間学部 文化学科 2年

実習期間	2019年 9月1日(月)～9月8日(日) (実働5日間)
実習企業	TAKEI PLASTIC (THAILAND) CO., LTD.
実習地	タイ王国

## 1. 実習目的

Chapter1 purpose

大学で様々な文化について学んでいます。そこで、海外の文化に興味を持ちました。その中でも、ビジネスにおける日本と海外の文化の違いについて学びたいと思いました。なぜなら、今グローバル化が進み、どの企業でも海外への理解が必要だと思うからです。さらに、海外とのかかわりがあると思われれます。だから、海外で働く経験を通して、将来の自分の経験にしたいと思い、海外インターンシップに応募しました。

## 2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

創業1959年に上田市に本社が設立され、1995年にタイに工場を設立されました。自動車向け部品を製造する会社です。樹脂を原料とした、プラスチック製品を射出成型して生産しています。射出成型に使う金型は自社で設計・製作しています。

## 3. 実習日程

Chapter3 schedule

9月2日…主要メンバーに挨拶、会社概要の説明を聞く、打ち合せに同席、現場の見学  
 9月3日…現場見学、現場パトロール、ミーティングに同席、日本の方の仕事を見学  
 9月4日…ミーティングに同席、現場パトロール、いただいた課題について考える  
 9月5日…最終日に発表する内容をまとめる  
 9月6日…PCを借りてパワーポイントをつくり、発表。タイ人マネージャーさんと食事

## 4. 実習内容

Chapter4 laboratory

## 実習1日目

主要メンバーに挨拶をし、会社概要の説明を聞きました。取引先との打ち合わせに同席しました。午後は工場を案内してもらいました。工場は部門ごとに分かれていて、場所を覚えるのがたいへんでした。ここでは5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を大切にしており、工場内がすごく整っていました。決められた場所に道具などを整頓し、通路には何もなくて移動などがスムーズでした。ものが整頓されていることによって、必要なものがすぐに取り出せて、なくなってしまうとすぐわかる工夫がされていました。



#### 実習 2 日目、3 日目

工場内を見学し、ミーティングに参加しました。工場内の言葉はタイ語でした。日本の方に通訳をしてもらいながら、ミーティングを聞き、分からないところなどを質問しました。現場パトロールでは、ずっと作ってきた製品などを図面と照らし合わせて、確認し、現場を見て改善があれば改善していく見回りをしました。細かいところまでチェックすることで、品質が保証されているのだと思いました。日本人の方からいただいた課題について、工場を歩いて参考になるもの等を探し、分からないことなどを質問し、課題を解決するにはどうしたらいいかを考えました。

#### 実習 4 日目

実習中に気づいた工場内の課題について最終日に発表するために、日本の方に工場内を説明していただきながら課題について工場内を調査し、どう解決するのかを考えました。

#### 実習 5 日目

実習の報告会に向けて PC を借りてパワーポイントを作成し、日本人の方とタイ人のマネージャーさんに実習中に気づいたことや、課題の解決を提案しました。日本の方とタイ人のマネージャーさんと食事をしました。タイの様々なことを聞き、タイの文化を実感しました。料理がとても美味しかったです。



### 5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

私がこのインターンシップを通して成長したと思うことは、課題を発見し、それについてどのように解決していくのか、または提案していくのかを考える力がよりついたことだと思います。実習中に気づいたことから課題を見つけ、それについてどう解決していくのかの訓練があったことが私の課題発見力が少し成長したのだと思います。自分の意見をプレゼンする機会があったことが、自分の意見を発表する練習になったことも実習の成果だと思います。

海外で働くということを通して、ビジネスにおける文化の違いを実感することで、異文

化理解につながり、文化を学べたと思います。この実習中に経験したことが、私の中でとても良い経験になりました。この経験を通して将来の自分の経験となると思います。

## 6. 今後の課題

Chapter6 problem

今後の課題は、3つあります。1つはプレゼン力、発表力をもっと高めることです。実習の最終日にプレゼンを行いました。そこで気づいたことは、慣れてない感じがしたことです。今後プレゼンする機会は増えていくと思うので、場数を踏んでプレゼン力を高めたいと思いました。

2つ目は課題解決に向けて、論理的に手段、方法を考え、発表する力をつけることだと思います。実習中のプレゼンでその力はまだまだ足りないと感じました。論理的に物事を考え、発表することを意識したいと思いました。

もっといろいろな業種に興味を持ち、調べることです。今回、あまり調べたことのなかった製造業を知ることで、より興味を持ちました。いままでの自分の視野が狭いと感じました。自分の将来を考えるためにも、いろいろな業種に興味をもって調べることで、選択肢が広がると感じました。

## 7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

絶対に行ったほうがいいと思います。なぜなら、自分の経験にプラスになるからです。留学や旅行では体験できないことをこの機会では体験できます。文化の違いや、ビジネスにおける文化の違いを体感することができるとてもいい機会です。行く前は不安に思うことがたくさんあると思いますが、何事もチャレンジすることが自分の経験につながると感じます。

## 8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

武井樹脂製作所の皆様には大変お世話になりました。今回の経験が自分の中でとても良い経験になりました。今回の経験を糧にこれからも様々なことに挑戦していきたいです。実習中、何一つ問題なくインターンシップに取り組めたことに感謝いたします。ありがとうございました。